

「中間発表会」

与論高等学校 1, 2 年生

授業：総合的な探究の時間「ゆんぬ」



令和 2 年度与論町海洋教育

07 号

昨年度から与論町教育委員会では日本財団・東京大学海洋教育センター・笹川平和財団海洋政策研究所からの支援を受け海洋教育パイオニアスクールを導入しました。町内の小・中・高等学校が連携して行う「地域連携型」というスタイルで海を通じた学びの活動を行っています。与論町教育委員会を含め全国 10 の地域が「地域連携型」で海洋教育パイオニアスクールプログラムに参加しています。

10月28日、与論高等学校1, 2年生の総合的な学習「ゆんぬ」中間発表会に参加させて頂きました。当日は日頃から海洋教育に御協力を頂いている、地域サポーターさんも講師として発表会に参加して下さいました。

与論高等学校1, 2年生は今年も総合的な探究の時間を使い、探究活動に取り組んでいます。1年生はグループ、2年生は個人で活動し、今回の中間発表では現時点での報告を行いました。



1 年生発表の様子

1 年生は 4 ～ 5 名ずつの 10 グループに分かれて発表をしてくれました。テーマは「観光業の未来について考える」、「与論町の人口減少」、「島の特産品について」、「島の環境を保全する上で自分たちにできることは」などがあがっていました。各チームが、1 枚のポスターに活動の成果をまとめ発表しました。

2 年生は個人で活動した報告を行いました。「与論の文献」、「与論の医療について」、「与論のために活動している人々」など各自研究テーマとして設定していました。資料をもとに、制限された時間内で発表が行われていました。

当日講師として参加した地域サポーターさんからは、それぞれの経験、知識、お仕事を通じたプロの意見として鋭いコメント、アドバイスもありました。講師からのアドバイスを元に、課題の発見、今後の探究活動の見通しを立て、年度末の発表会に向けて取り組んでいく予定です。

年度末の発表会、楽しみにしています。



2 年生発表準備の様子

取材：

与論町海洋教育推進協議会事務局

取材日：2020.10.28